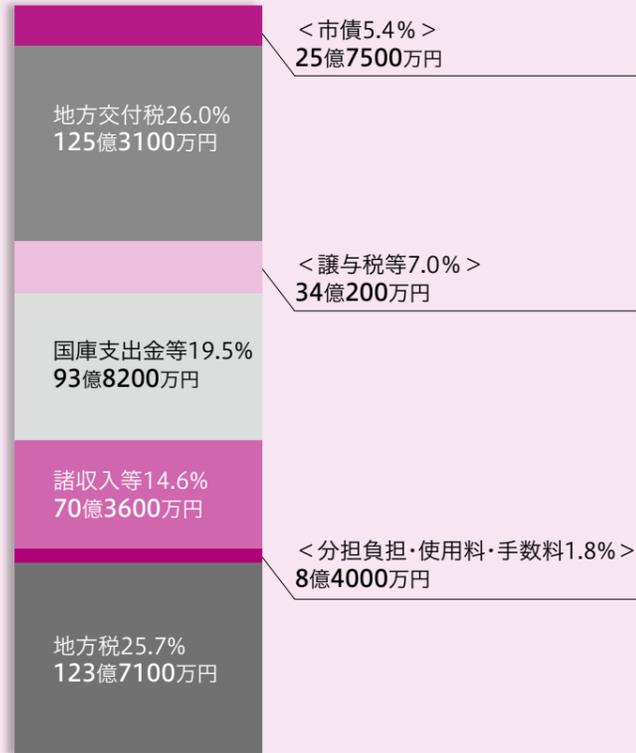


令和4年度

一般会計の決算



歳入 481億3700万円
(前年度比△3.8%)



歳出 466億4000万円
(前年度比△4.5%)



用語解説(歳入)

- 地方税 市民税・固定資産税など市に納められた税金
- 分担負担・使用料・手数料 主に保育料・児童館使用料などの市の施設を利用する人から納められたお金
- 国庫支出金 市が行う特定の事業に対して国から交付されたお金
- 譲与税 地方消費税交付金など国・県から交付されたお金
- 地方交付税 市が平等に行政サービスを提供できるように、一定の基準により国から市に配分されたお金
- 市債 公共事業などの財源として国などから借りるお金

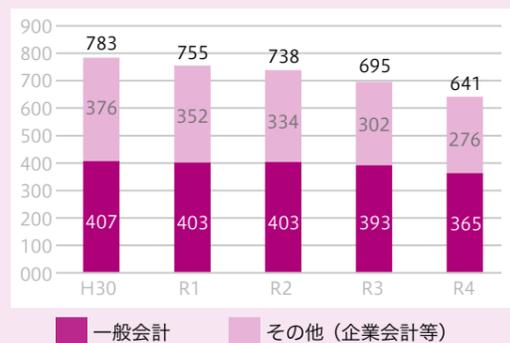
用語解説(歳出)

- 総務費 総務人事・財産管理・地域振興・税務事務などに使われたお金
- 民生費 高齢者や障がい者、児童福祉などに使われたお金
- 衛生費 ごみ処理や予防接種などに使われたお金
- 農林水産業費 農業・林業・畜産業などに使われたお金
- 土木費 道路や公園、市営住宅の整備などに使われたお金
- 公債費 国などから借りた市債の返済に使ったお金

■基金の残高(一般会計分)

	令和5年3月31日現在
財政調整基金	53億6100万円
減債基金	31億2400万円
公共施設整備基金	43億9300万円
その他	63億5200万円
合計	192億3000万円

■市債残高の推移



令和4年度 決算公報表

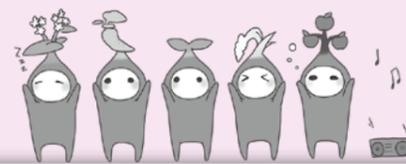
市の財政は健全なの？

市の債の残高や基金の残高などから市の借金がどの程度あるかを計る指標を実質公債費比率・将来負担比率といえます。実質公債費比率は単年度の借金返済額の割合を、将来負担比

率は将来負担すべき借金の割合を示しています。市の比率は、国が財政の健全化を促す早期健全化基準を下回っているため、健全な財政運営であると判断されます。

圖財政課

TEL 71・2005



市民一人当たりに使ったお金は

歳出決算額 466億4000万円 ÷ 令和5年4月1日現在の人口 9万6455人
= 48万3541円でした。

令 令和4年度の一般会計の決算額は、歳入481億3700万円、歳出466億4000万円となりました。コロナ禍の影響で500億近くの大規模な決算額となった令和3年度と比較すると、比較的その関連事業も落ち着いたことから、歳入で3.8割、歳出で4.5割の減少となりました。歳入から歳出を引いた形式収支は14億9700万円となり、翌年度に繰り越すべき財源1億6500万円を除いた実質収支は、13億3200万円の黒字となりました。

市 の借金(市債)は、公共事業などの財源として国などから借りるお金です。市債発行の方法には多くのメニューがあり、有利なものは償還金の一部を地方交付税で補填してくれるものもあります。市では、①整備を行うハード事業の厳選②有利な市債メニューの積極的な活用③後年度の返済にかかる負担の3点に重点において財政計画を作成し、市債を発行しています。こうした取り組みにより、令和4年度の市債残高(企業債を含む)は令和3年度に比べ53億9500万円減少しました。(左ページ下グラフ参照)ここ数年減少傾向が続いており、良い傾向であると言えます。今後も借入と償還のバランスを調整し、年度間の負担均衡に努めます。

- 令和4年度 主な新型コロナウイルス感染症対策 物価高騰対策事業費 国・県の交付金を活用しました。
- 公立認定こども園、穂高幼稚園、小中学校給食食材の物価高騰分負担 2200万円
 - 低所得の子育て世帯への生活支援特別給付金 2億1200万円
 - 畜産農家、養魚事業者へ飼料価格高騰分の支援 2100万円
 - 市内事業者へ燃料費高騰分の支援 1億2500万円
 - 低所得世帯への物価高騰支援給付金 6億6000万円
 - 飲食店等へ応援給付金 1億円
 - プレミアム付商品券の発行 1億9600万円
 - 宿泊施設応援券の発行 1億1500万円